

# Population Size Estimation of Men Who Have Sex with Men through the Network Scale-Up Method in Japan

メタデータ	言語: English 出版者: 公開日: 2012-04-20 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 江副, 聡 メールアドレス: 所属:
URL	<a href="https://jair.repo.nii.ac.jp/records/2001427">https://jair.repo.nii.ac.jp/records/2001427</a>

順天堂大学 博士(医学)

氏名 江副 聡

論文題名 Population Size Estimation of Men Who Have Sex with Men through the Network Scale-Up Method in Japan

(Network Scale-Up Method を活用した日本における Men Who Have Sex with Men (MSM)の人口サイズ推計に関する研究)

論文内容の要旨

背景：日本における HIV 感染のリスクグループとしては、Men Who Have Sex with Men : MSM（ここでは、「男性同性愛者」とする）がとりわけ重要であるが、その一方で、男性同性愛者の人口サイズ推計は、文化的・習慣的背景に基づく対象者へのアクセスの困難さや、それにかかる費用が大である点から、日本においては従来あまり行われてこなかった。本研究の目的は、アクセスが困難な集団の人口サイズを推計する統計手法として公衆衛生対策の文脈で諸外国で用いられ始めている Network Scale-up Method を、インターネットモニタに対するアンケート調査に組み合わせて適用し、日本の男性同性愛者人口を簡易に推計するための革新的な手法を提示することにある。

方法：インターネット調査会社の登録モニタ 1,500 名に対して、既知のサイズを有する特定の集団（消防士、警察官、自衛官）および人口サイズが未知の集団としての男性同性愛者が、自らの知り合いに何名いるかについてのインターネット調査を行い、Network Scale-up Method を適用して個人のネットワークサイズ及び男性同性愛者人口の推計を行った。

結果：個人のネットワークサイズは、男女両性の知り合いの合計数として 363.5 名、男性のみでは 174.0 名であると推計された。さらに、先行研究に基づく日本における男性同性愛者の平均的なカミングアウト率で補正した後の、日本の男性同性愛者の人口比率は、2.87%であると推計された。

結論：本手法による個人のネットワークサイズ及び男性同性愛者の人口比率の推計値は、いずれも、直接法を用いた日米の先行研究による推計結果と遜色なかった。本研究で示された Network Scale-up Method を用いた推計手法は、直接法との比較において、迅速性、簡便性及びコスト面から極めて有益な手法であることが示された。